



我が消防団の心意気

# 秋晴れの一日大歓声

## 竜丘市民運動会

天高く、秋空一杯に広がる青空のもと、恒例の竜丘市民運動会が盛大に行なわれました。各分館対抗種目や一般参加種目共、参加者は精一杯日頃の鍛練の成果を出し、小学生による応援合戦も年々華やかになる中で、市民運動会にふさわしく地区民、家族そろっての楽しい一日を過ごす事が出来ました。これからは全地区民総出の盛大な運動会にしていきましょう。

去る十一月四日、竜丘市民運動会が延べ二千人の参加で盛大に行なわれました。早朝の小学生による聖火リレー、開会式と進み、かけっこの始まり頃にはいつの間にか観客も増え、子供達の走る姿に声援が送られていました。マラソンでは多くの若者に交り、明星学園の三浦さんも参加者最高齢ながら完走し、全体的にも明星学園生の一般種目への参加が見られ、地区民との交流の場ともなりました。他にも、気はやさしくて力持ち、しんぼうくらべでは我が公報委員の宮沢君が竜丘一に、打つ度に一喜一憂の老人パワーのナイスショット。勝負より酒を味わうチューと一杯。ウーン色っぽい! おとしちゃだめだに。各種目に笑い声、大声援と雰囲気も盛り上がり綱引きでは選手はもちろん



ワイ! 風船もらっちゃったよー

### 健闘光った長野原

ポンプ操法より息の合う消防団の意気。婦人パワーの結果、玉入れ。顔を真白にして探す大福ひろいと後半に入って選手観客共ますます熱が入り、いよいよ最後の種目。運動会の華「年次リレー」では各分館総立

る。一般参加も含め後半も頑張りたいた。予想以上に頑張りつつある。各種団体リレーで一位になれて良かった。後半はこの勢いで。長野原 皆、大健闘。いつになく皆、燃えている。と各分館様々な声が聞かれ楽しいお昼の一時を過ごした。風船ひろいとはのほのほとした雰囲気の中、後半へ...



発行所 飯田市竜丘公民館  
編集 竜丘公民館広報委員会  
印刷所 龍共印刷株式会社  
龍共印刷株式会社  
上郷町黒田 22-5353

人口	5,926 人
男子	2,843 人
女子	3,083 人
世帯数	1,621 戸
(10月末日現在)	

総合優勝した時又分館の頑張りほみごとでしたが、今年はそれ以上に長野原分館の活躍が目立ち、近年記憶に無い準優勝という好成績に皆一様に驚き、その一致団結した姿に盛大な拍手が贈られました。

今年で第七回の竜丘市民大学講座は、去る八月二十八日・三十日・九月一日の三日間に行われた。今回のテーマは「歴史を通して郷土を知ろう」明日の竜丘のあり方を探るため、先人の英知、歴史を学び故郷を学習した。三日間の受講者数は一九四人で小学生から年配の方まで幅広い層の受講者があった。全講座受講された二四名の皆さんが、修了証を受け取られた。

### 歴史を通して郷土を知ろう

#### 竜丘市民大学講座開催

今年で第七回の竜丘市民大学講座は、去る八月二十八日・三十日・九月一日の三日間に行われた。今回のテーマは「歴史を通して郷土を知ろう」明日の竜丘のあり方を探るため、先人の英知、歴史を学び故郷を学習した。三日間の受講者数は一九四人で小学生から年配の方まで幅広い層の受講者があった。全講座受講された二四名の皆さんが、修了証を受け取られた。

期日	テーマ	講師
8/28	菱田春草が歩んだ道 —春草の名作とその辛苦の足跡—	菱田春草研究会顧問 小島 恵 先生
30	愛国の情やみがたし —水戸浪士飯田を通る—	高森町歴史民俗資料館館長 堀 澤 尚 人 先生
9/1	古墳めぐり —自分の目で、足で確かめよう—	郷土史家 元竜丘公民館館長 中田 実 先生
	竜丘を中心とした飯田市の古墳 —日本史の中へ竜丘の古墳を位置づける—	飯田市社会教育課 小林 正 春 主事

今年度は、四月に地区内の防災点検を行いました。目的、場所、方法等を決め全団員に呼びかけます。結果は区に報告し、改善をお願いします。6月に郡内研修旅行を行いました。今年度は、中電和知野管理所を中心としたものでした。七月に、地区内の池の泥出し作業です。防災に協力する目的です。この日は団員の半数近くが参加し、泥にまみれて作業します。更に、区有林の下刈りに協力です。8月には、壮年団

来年も元気で逢いまいな  
十月十日体育の日、竜丘小学校体育館を会場に竜丘地区敬老会が開催された。対象者は、満七〇才以上のお年寄り(大正四年十二月三十一日以前生まれ)で、秋祭りの準備が完了した。秋祭りの準備が完了した。秋祭りの準備が完了した。

当日は好天の農繁期ということもあり、出席者は二百五十名程でした。八十才のお祝い該当者は三十名、記念の色紙を授与され表彰者代表で時又の小嶋若一氏が謝辞を述べた。余興として浪花節の神楽「軒米丸さんの「岸壁の母」、「乃木將軍」、その息子さん

中田先生によると「竜丘には約百四十基の古墳があったが、現存するものは約四十基と大部分のものが隠滅古墳となっているので、正しく次代に伝承する必要がある」との提言があった。今、竜丘は桐林のびる団地籍及びその上段の開発構想に象徴されるように大きく変貌しようとしています。これら先人の文化遺産の保護についても地域の課題として取り組む必要を感じた。



古墳で知る竜丘の歴史

の歌謡曲にさかんな拍手。少しお酒も入り、飛び入りの手品・のど自慢となごやかなふんいき。午後からは、地域グループの芸能発表、民謡・唄う民謡・ハーモニカ・詩吟と盛り沢山、時又保育園の園児も可愛いブラスバンドを披露してくれました。最後に「来年も又、皆が元気で楽しみにこの会に参加することを約束して、お礼の言葉とします……」あの声援の中に「グラウンド」の声を地区の先立つ方々に聞かされたかどうか。

長野原壮年団は五年前に結成され、親睦を目的とした活動の中で行事を行って成果を上げています。団員は七十余名となり、今後の活躍が期待されています。長野原は今、二百戸をこすまでになりました。他地区から来られ長野原の地に住む方々が当地区に慣れ、区民と知り合い楽しく生活できるよう願うものです。そこで壮年団では、団員が年齢の方には是非加入して頂き団活動に参加する中で、地区に慣れ人を知って頂くことにしています。それは団の活動について簡単に申し上げます。四月に総会を開き、一年間の行事計画を決めます。

団行事の中で目玉ともいえる夏まつりの煙火打上げです。一ヶ月前から準備に入り、八月十五日の夜に全力をかけます。これは大変な作業ですが、団員の協力で毎年盛大に行い、喜びを分かち合っています。特に手作り煙火は区民注目の的です。十月には、秋の半日をソフボール、紅葉狩りで楽しむ予定です。

今後、団員の和と団結により益々活発な活動が続けられるように努めます。今年度は、四月に地区内の防災点検を行いました。目的、場所、方法等を決め全団員に呼びかけます。結果は区に報告し、改善をお願いします。6月に郡内研修旅行を行いました。今年度は、中電和知野管理所を中心としたものでした。七月に、地区内の池の泥出し作業です。防災に協力する目的です。この日は団員の半数近くが参加し、泥にまみれて作業します。更に、区有林の下刈りに協力です。8月には、壮年団

壮年団の手づくりみこし  
区民研修会に参加、文化祭に協力、十二月には団研修会、講師を招いて行います。新年には、新年会、麻雀大会を行います。



壮年団の手づくりみこし

かつては農業主体の地域であった当地区も、最近では農家の兼業化が進み休日農家が増えている。運動会日和のこの日は農作業日和にもなっている昨今である。全村運動会時代は今ほどレクリエーションも多くはなかった。それだけに皆がその日を楽しみに楽しみにしていたのである。この運動会で勝ったものは村一番というレッテルをはってこられたのである。いく人も村一番がこの場から生まれ、茶飲み話となった事だらう。

スポーツの秋を迎え各地区で運動会等が盛んに開かれているが、先日この竜丘地区においても、地区運動会が開かれた。ひと昔前は「全村運動会」と呼ばれ、村の一大イベントとして村中の老若男女が集まり秋の一日を過ごしたものである。それが最近では参加者も少なく役員が目立つ一部の人々の運動会ではなくなっているようである。

# 児童センター建設本決まり!

## —青少年健全育成の拠点に—

◇ 急激な都市化・核家族化の中、共働き家庭などで留守家庭に残される…◇  
 ◇ 児童が増加し、さらに一家庭当りの子供数も減少している。又、「いじ…◇  
 ◇ …め」問題に象徴される子供社会のゆがみが噴出している。こうした現状…◇  
 ◇ …の中で、友人と遊びながら協調性を養い、他人の痛みが解る人間に育つ…◇  
 ◇ …場が強く求められている。◇  
 ◇ …こうした「場」としての児童センターの建設が本決まりとなった現在…◇  
 ◇ …センターを有意義に運営していく努力が、地区民に残された将来の大き…◇  
 ◇ …な課題である。◇

早期実現が希望されていた「児童センター」の建設がいよいよ本決まりとなり、早ければ来年度着工する。建設場所は、小学校からも近い、桐林の旧図書館(現在は青年の家)の地籍の予定である。

児童センター建設の気運は、昭和五十七年頃から生まれ、当時七十名位の留守家庭児童が童丘にいたことや、現代は各家庭の子供の数が少ないため、仲間を作って遊ぶことがあまりなく協力や助け合いの心が養われないことなどが、青少年健全育成で課題として取り上げられたことである。

その後、育成会で、先進地である松本市・塩尻市の児童センター・児童館の視察を行ない、児童センターの必要性を確信し、市へ早期建設を要望してきた。

建設予定の児童センターは、二階建ての建物の二階に設置し、建物の面積は九十坪程度、補助基準により



児童センター建設予定の旧図書館

またセンターには、館長(非常勤)のほか厚生員二人、体育指導員一人がおかれ、体力作りを中心とした指導がなされる。

この児童センターが完成すると、自らが学級の枠を超えて、自分たちで工夫しあひ、また多くの友達と遊ぶことにより、協調性も体得出来たり、充実した遊戯

室により体力の増進も期待出来る。

一階は、青少年多目的研修施設(文部省事業)として(柔道場の設置を予定)活用する為、関係機関で研究中であるが、現在の「童丘青年の家」が、児童青年会・飯田市連合青年団の活動の拠点となつていいるため「そのスペースを確保してほしい。」との要望も青年会から出されており、そのスペースの配分等が今後の課題である。

### 楽しみながら健康づくり

毎月第二・四木曜日の健康づくり教室が、童丘小学校体育館で行なわれていま

この教室は、病気をせず健康な生活を送ることを目的として始められました。

内容は、音楽に合わせて体を動かすリズム体操、簡単な遊具を取り入れた体を柔らかくする健康体操、鬼ごっこや綱引き等軽スポーツを折混ぜながら行なわれ、苦しさのあまりうめき声も聞かれましたが、それぞれ、全員が楽しく、なごやかに行なわれていた。しかも好評でした。

参加者の中には、急に走ったり体を動かすと翌日痛くなるのでは?と心配していた人もいたが、ストレッチ体操をすると全然痛くならない。又、適度に運動し無理なく楽しく出来る等と大変好評でした。

しかし、参加者に地域的な片寄りが見られる。一部の地域では独自にやられているが、他の地域では皆無である。一回や二回で終わる事なくこれからも続けられるこの教室へ、童丘の全域から多くの人が参加が望まれる。

喜一憂している姿が、印象的でした。

午後は、体育館にて六十余名で学年を越えた六チームのリーグ戦で、綱引き大会を行いました。

試合は、一分を超える熱

### 頑張れ 丘の子供達

去る九月十五日に、今年で五回目を数える、童丘子供オリエンティング大会、今年新たに計画された、同綱引大会が、童丘小学校を中心に行われました。

この二つの大会は、公民館・青年会・育成会が中心となり、地区の各種団体の協力により、小学校高学年を対象としたものです。

次代を担う子供達が、互に協力・助け合いながら友情を深め、又地区内の豊かな自然・旧跡等に触れ、生まれ育ち、生活している童丘を知る体験学習を目的としています。

当日は、午前中オリエンティング大会が行われ、



それ引け! やれ引け!

戦あり一方的な試合ありと様々でしたが、応援の声・掛け声と、体育館の中は熱気につつまれていました。

子供達は、一日仲間や青年会の皆さんと、交流を深め、貴重な体験を通して多

### 大会結果

- 盆野球大会 (八月十五日)
- 優勝 駄科南平
  - 二位 時又一常会
  - 三位 上川路
  - 桐林東
- 分館対抗ママさんバレーボール大会 (九月八日)
- 優勝 桐林分館
  - 二位 駄科分館
  - 四位 四勝
  - 二位 駄科分館

### 夏の飯田は 人形達の街 ツイローカ人形劇場 童丘で上演

「ヨウナポットキバノク」を出され、こちらもおぼえたのハンガリー語で「ヨウナポットキバノク」とほそぼそ、残念。

会場では園児や小学生の親子連れ、報道関係者等約三百名の超満員。廊下まで観客がはみ出している大盛況。バーロン・ラースロさんと教えるの女性二人、通訳のアテラさんの四人です。「七つの子」「桃太郎さん」を日本語で歌ってくれ、皆びっくりに。演目「ルダシュ・マチ」は言葉は解らない



健康づくりにストレッチ体操を



「ピンツラータシュラ、またあいましょう」

が、人形の動きで充分楽しめました。公演終了後、実行委員で歓迎会を行ない、文化交流として各分館の民踊クラブの皆さんが民踊を披露し、最後に「電帳小唄」をツイローカの皆さんも輪になって踊り、その上達さに皆、又ビックリ。民踊の扇子が気に入って土産に三本進呈。絵の上手いパロンのサインをもらい、実行委員で作ったポスターに全員サインする等なかなか雰囲気終る事が出来ました。

三日は小学校で「京劇」「とりよろ」による楽しい公演があり、こちらも大盛況でした。

今、三年後の一九八八年に日本で開催される「世界人形劇フェスティバル」を飯田に誘致しようという動きがあり、実現すれば大変すばらしいことです。その為にも各地区の地道な温かい受け入れが大切です。童丘でも来年は各分館でも受け入れられよう進めていけたらと思われまふ。又、青年会でも毎年人形劇に触れる中で、今年の文化祭に発表した様な人形劇も作られてきています。このフェスティバルを通して地区の中にも人形劇グループなど出来たら、まさに人形達の街「飯田」となっていくのではないのでしょうか。

### あの人のこの人

- 七月一日  
十月三十一日届出分
- ◎永遠に幸あれ
- 土屋 隆雄 時又
  - 武井紀代子 毛賀より
- 下平 健 桐林  
松島みどり 上郷町より  
中島 喜彦 駄科  
今村ナナ子 伊豆木より  
下田 秀郎 桐林  
田中 晴枝 豊丘村より  
佐々木幸二 阿南町より  
筒井佐代子 時又  
伊原 広隆 時又  
加藤富貴子 北方より  
笹岡 健次 上川路  
松澤 由美 阿南町より  
荒井 徹 長野市  
北沢真味子 長野原より
- ◎伸びよ健やかに
- 氏名 区 父
  - 林 真紀 桐林 洋一
  - 増田悠莉亜 上川路 寿
  - 山田 雅樹 時又 芳勝
  - 木下 幹夫 時又 清春
  - 森 彩子 長野原 一郎
  - 北沢 理世 駄科 光雄
  - 伊原ゆかり 長野原 勝
  - 佐々木健司 長野原 宏
  - 近藤真由美 駄科 良一
  - 中島 航 桐林 武津雄
  - 中平 裕美 駄科 豊
  - 中平 和樹 駄科 文人
  - 原 義直 桐林 男80
- ◎冥福を祈る
- 田中 裕二 桐林 明雄
  - 水上 貴恵 駄科 静夫
  - 服部 雅文 時又 和弘
  - 林 亜弥 長野原 重直
  - 酒井 大地 時又 清司
  - 田中 祐也 上川路 實
  - 加藤 西時 又 直樹
  - 関島 雅宏 駄科 新一
  - 小本曾静恵 駄科 女59
  - 今村三四子 桐林 女76
  - 小室 美寿 上川路 女82
  - 原田ちさと 駄科 女86
  - 下平 安雄 時又 男75
  - 下平 静子 駄科 女47
  - 中平 源一 駄科 男89
  - 小室 正人 上川路 男76
  - 下平 繁 桐林 男85
  - 下井田ま寿 長野原 女84